

琉球大学学術リポジトリ

研究ノート：南洋

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄, 南洋, ノート キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38178

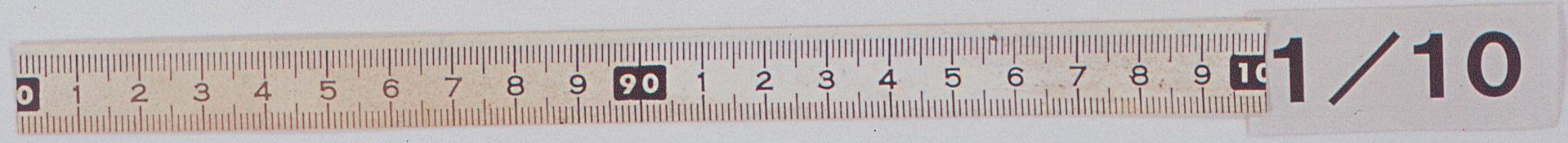
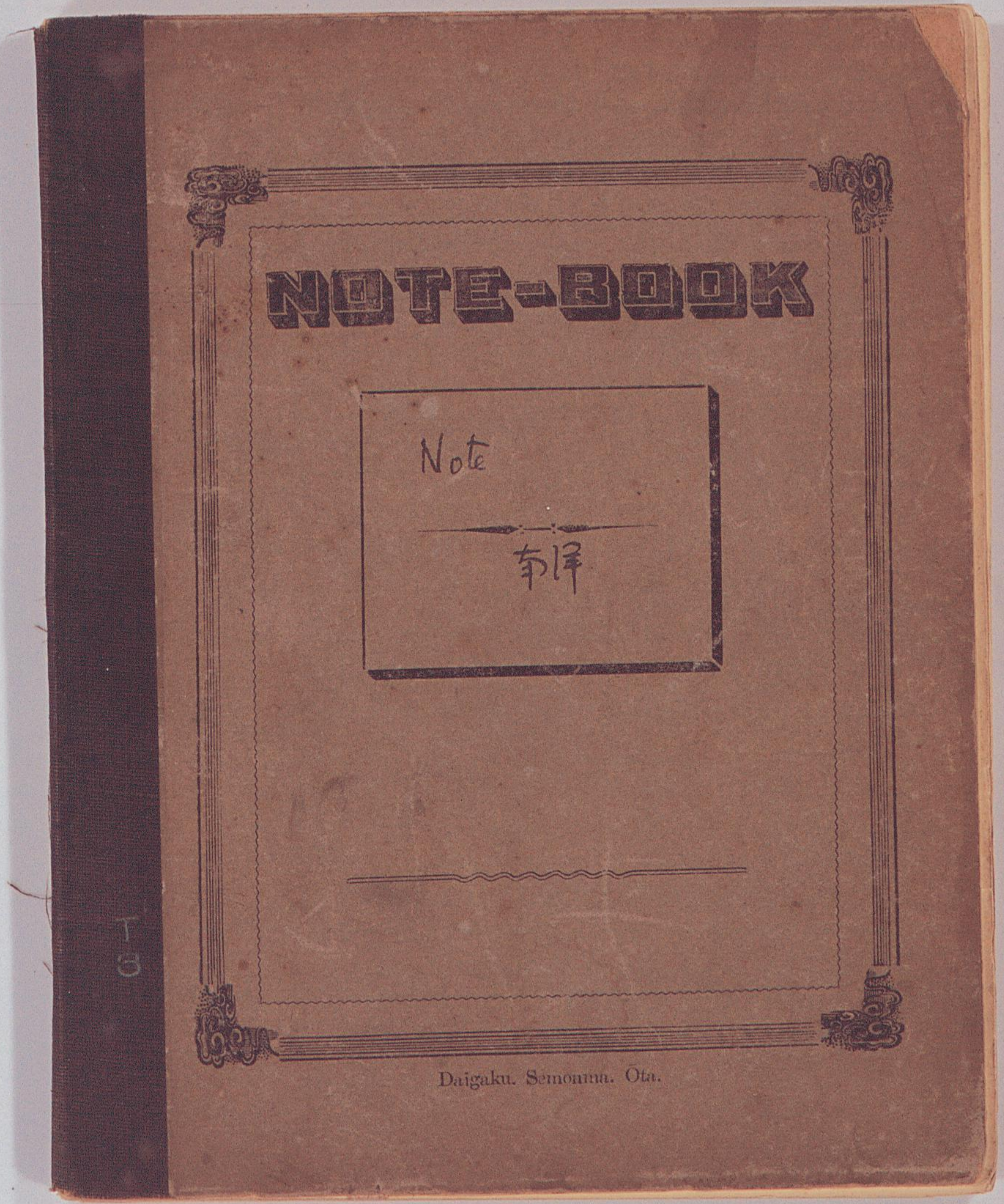
矢内原忠雄文庫

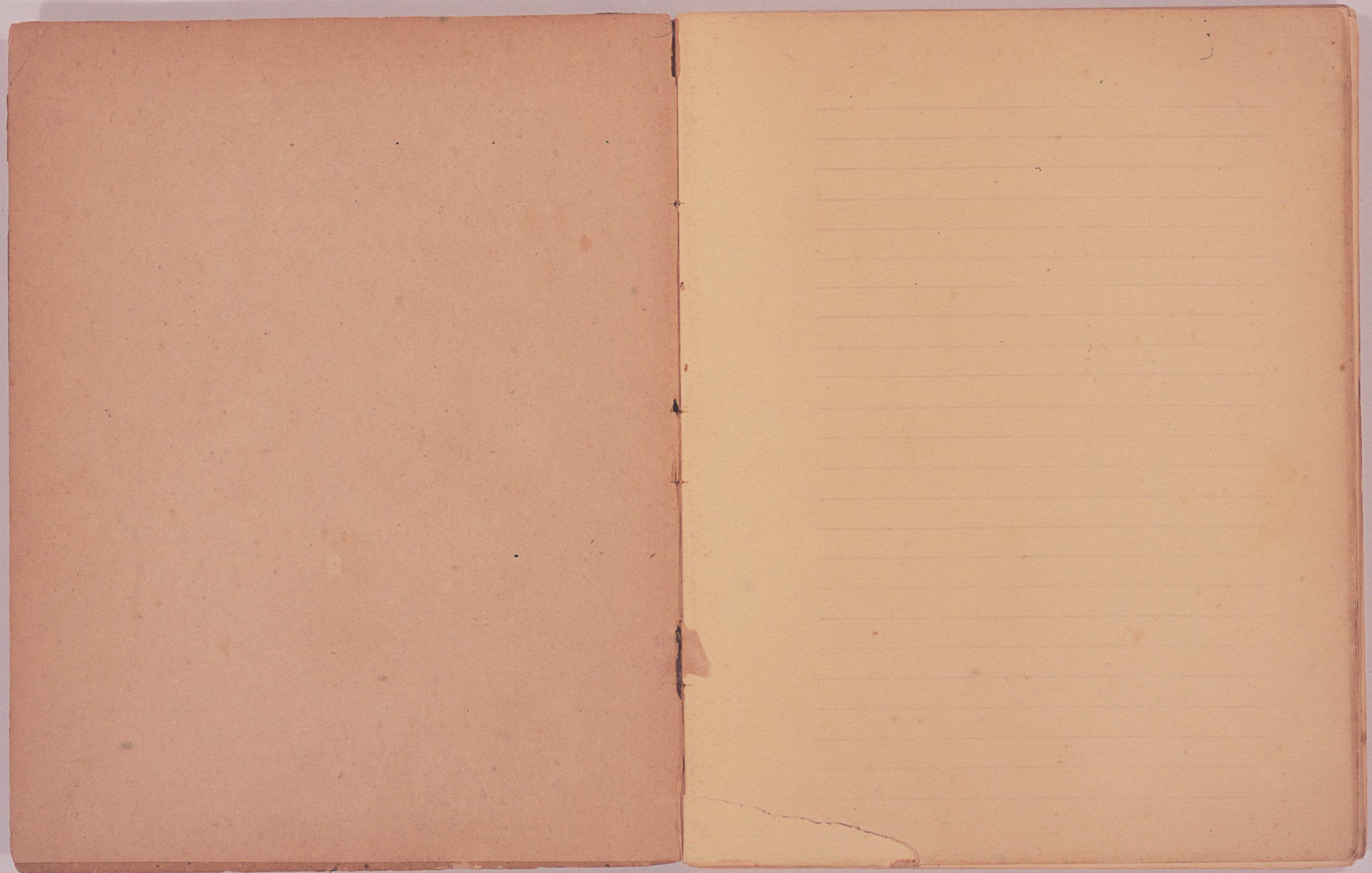
史料名	Note 南洋
封筒番号	227
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 14 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

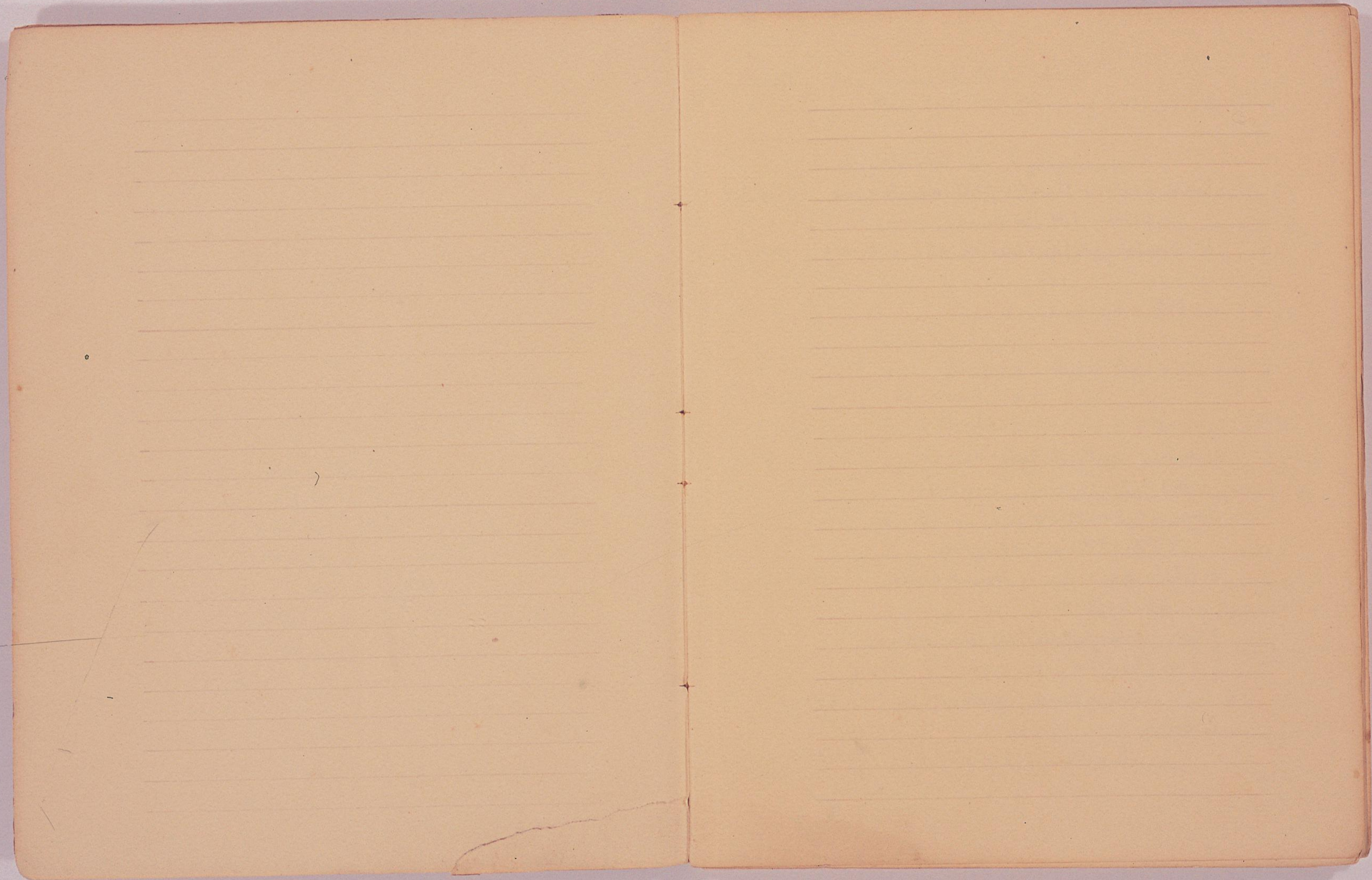
矢内原忠雄文庫

封筒番号： 227

史料名	Note 南洋
資料形態	ノート
枚数	39
頁数	78
縦 (cm)	21
横 (cm)	16.5
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 挟み込み資料3点あり、記述は36枚目まで 今泉分類記号： Y







Karl Emil, Handelspolitische Fragen. Neue Zeit
35 Jah. 1. te Band.
K. Kautsky, Sozialdemokratie & Krieg. 同上

Sartorius, Weltwirtschaft.
戦争 終止 までか? S. 408 以下
Levy, Weltwirtschaft.
世界 経済 の 再 建 S. 177 以下
Nachimson, Imp. u. Handelskriege. S. 152 以下
戦争 終止 と 世界 平和
Palyi, ~~Neue Grundriss~~ Kapitalwandlungen.
資本 主義 の 必 然 的 発展 S. 94-95.
Internationale Verständigung? S. 97 以下
Culbertson.
International Cooperation. p. 417 以下

Kautsky, Der imperialistische Krieg.
Neue Zeit. 35 Jahrgang. 1917. Erster Band.

Notwendigkeit des Imperialismus.

~~Kapital~~ Imperialismus は 資本 主義 国家 の 政策 の 有力
の 推進 力 とな っ た, その 唯一 の 推進 力 にな
る。又 資本 主義 国家 の 発展 の ため に 不可欠 とな っ た
と する。 S. 475.

Imp. は Extra Profit を 獲得 する 一 の 手段 であり
他の あり ませ ぬ。

資本 主義 国家 の Extra Profit を 得 る ため に 用 じ
ら れ る。 (Historisch)

(1) Merkantilismus. (市場 に 対 し て 有利 な 地位
の 獲得)

(2) Industrielle Kapitalismus (先 進 国 家 の 有利
な 地位) Extra Profit 獲得 の 手段

(a) 初期 に 対 し て 労働 搾 取 S. 476.

(b) 次に 技術 の 改良 (Free Handel)

(c) 次に 独占 (市場 に 対 し て 有利 な 地位 の

獲得) の 方法 (1) 併 呑 吸収 } Imperialismus.
(2) 排 他 政策 }

Kapitalismus の Extra Profit 獲得 の ため
一 政策 あり, 一 方法 あり, S. 477. Notwendigkeit
に あり ます。 S. 477.

Imperialistische Politik は 何れの国に於て 同様の形
に、同様の様式に於て あり 478-479-480 S. 478.
英. 独. 米.

資本的階級の 欲求は 帝國主義に 依存するに於て S. 480

國々の 帝國主義政策を 実行するに 必要は 其の國の Machtverhältnisse
によりて 定む。 (國內に於ては 階級的關係 帝國主義に於て
は 階級的勢力如何。 及び 其の國の 對外的
勢力。 軍備 etc.) S. 482.

帝國主義は 其の 資本主義の 必然的政策に於て

[其の 階級關係に於て 必然... domin]

帝國主義の 変遷.

一國による 世界征服の 構想. S. 482
帝國主義の 333 の Verständigung の 可能.

"Internationale der Imperialisten." S. 483

但し 其の 交渉の 必要は 戰爭の 結局如何に 依る。
戰爭の 結局の 如何の 可能性の 中の一に於て S. 483

帝國主義の 特徴は räumlich に 且 zeitlich に 異なる。
S. 483.

Eulerburg.

International Verbände und Monopole.

Form.

1. eine Gruppe von Personen in vertraglicher Form
2. internationale Abmachungen u. private Verträge
3. Interessengemeinschaft. S. 152

種類

1. Rohstoffmonopol.

- の因由 (1) 見地地域の広大なる支配
(2) 自然の富の豊富に依存する。 S. 154

50 70 の Rohstoffmonopol あり。 S. 154

2. 工業製品の子格あり。

- Form. (1) Absatzkontingentierungen
(2) Preiskonventionen
(3) Verkaufsyndikat

子格ありの子格あり。 田沢 S. 155

子格ありの子格あり (finanziäre Verbindung の成立)

子格的 Interessengemeinschaft. 田沢 S. 155

(1) 子格的の成立は子格的に成るべきである。 S. 155

影響

- (1) 子格的の成立の必要と成る
- (2) 輸出入生産の統制(量的)
- (3) 他の子格的の競争力の補助的の手段としての子格あり。 S. 155
- (4) 物價の騰貴
- (5) Anpassungsfähigkeit の弱さ
- (6) 中立的市場分割の因由 S. 156

挿入文書

トイライスはキリン

文化は
ライトの
一滴より生まる

目録
一、キリン
二、キリン
三、キリン
四、キリン
五、キリン

電球専用

トイライスは

キリン電球製造株式会社
東京・大塚

店商田太は具は文

Eulerburg.

Internationale Verbände und Monopole.

Form.

1. eine Gruppe von Personen in vertraglicher Verbindung
2. internationale Abmachungen u. private Verträge
3. Interessengemeinschaft. S. 152

種類

1. Rohstoffmonopol.

- の因由 (1) 生産地域の広大なること
(2) 自然的条件に依存すること. S. 154

その 70 の Rohstoffmonopol あり. S. 154

2. 工業者組合の発展

- Form. (1) Absatzkontingentierungen
(2) Preiskonventionen
(3) Verkaufssyndikat

の因由 (1) Absatzkontingentierungen S. 155

工業者組合の発展 (finanziere Verbindung の因由)

工業者組合の発展 (finanziere Verbindung の因由)

(1) 較級の産業は工業者に依るべきである S. 155

影響

- (1) 工業の発展の必要を感ず
- (2) 輸出入生産の統制(量的)
- (3) 他国工業の競争力に對する補助的の手段としての協同. S. 155
- (4) 物價の騰貴
- (5) Anpassungsfähigkeit の減少
- (6) 中立的市場の因由 S. 156

Imperialismus の 特徴

世界経済の強者と弱者の間の "Antinomie" S. 224
 此の Antagonismus は強者に有利である. S. 224-225
 併し大勢は 帝国主義時代の過去である S. 226
 Kapitalverflechtungen は平和と戦争の間の
 世界経済の連続の強者化。之は工業の発展の
 Ideologie は Humanismus である. S. 226

Eulerburg

Weltwirtschaftl. Archiv. 1927.

Die Handelspolitischen Ideen der Nachkriegszeit

世界経済の「史的」問題は 経済手段の平和性
 と同時に、且つ之により、非協同力の突進と相乗
 作用に在り. S. 108

トイラはキンイ

文化は
ライトの
一滴より生まる


豆瓶
二オンス入
六オンス入
十二オンス入
一ポンド入
廿四オンス入
各種あり

純粋の質
油麗の色

萬年筆用

ライトインキ

ライオンインキ製造元
篠崎インキ製造株式会社
東京・大阪



店商田太は具文

挿入文書

Weltwirtschaft. Archiv. 1927

Harms, Strukturwandlungen der Weltwirtschaft.

Internationale Trust.

銅 etc. s. 27

高級 Nationalismus. 詳細の分類

物品に別れる形と本数 14. s. 35

高級に別れる形と本数、地域の生産力の変遷 s. 37

自然の条件 } räumlich-gebundenen Produktionsfaktoren
人為的条件 } " - beweglichen "

⇒ 物品に別れる形と本数 + 固定の本数 (生産力の変遷)

熱帯地方に工業用生産設備。

温帯地方に熱帯産物の代用生産設備 (Zucker)

熱帯に別れる一地方の生産物と他地方に生産物とを以て
生産設備 (Cacao, Kautschuk 等)

温帯に別れる一地方の生産物と他地方に生産物とを以て
生産設備 (Cotton goods etc.)

国家主義
Nation の主義
Nationalismus
国家主義

交通網の進歩と経済領域の拡張

"Internationale Interessensolidarität," s. 56

この世界経済の高級-別れる "Strukturwandel"

1), s. 57-58

Hilferding. Probleme der Zeit.
"die Gesellschaft." Jhg. 1. No. 1. April 1924

戦争前後の
社会学的发展.

「戦争前後の社会及経済は資本の集積傾向のausserordentlich
なる増大を意味す。カルテル及トラストの発展は力強く促進
された。自由競争時代は終りに近づいた」 S. 1-2.

「これは自由競争の資本主義の organisierter Kapitalismus
への Uebergang を意味す」 S. 2.

「Engels の彼及の Marx の生涯の主要な Utopie 的
理想への社会主義の進歩と社主義は、今日の内的
社会主義を社会組織 (Organisation) に応用する
にある。これは科学的な社会主義の建設的進歩への
Uebergang なる」 S. 2.

国家間の関係に於ける変化に於て

「戦争の Ausgang は帝国主義に終りを告げしめ、
若くは少くとも之を決定的に変化せしめしめりやの同様に
存在す」 S. 14.

戦争は各争奪品の勢力の増進競争を以てして
とす。然るに世界大戦は資本主義の優越を以てして
久しに用済みならずは争奪る領土の膨脹より
むしろ取得利益の絶対及組織を欲す。強に
植民地の民族的自覚により脅威あるに於て。

「このことは資本主義の膨脹の勢力が、世界
市場の共同の生産及利用の方向に轉形せしむる
に於て」

(個々の部分的な暴力的征服の代りに其

の

す。これは戦争傾向を弱め、而して realistischen
Pazifismus とすべき一政策を可能ならしめるべきか。
資本主義は實際戦争を意味し、
系統の完全な克服を以てして平和を確保せ
しめ得るものであらず、而して個々の国家主権とは
超国家的組織の利益のために制限するべき
überstaatliche Organisation
の建設的政策により、現在の世界秩序の野蠻な
かつくさるべきか。これに於て又 ~~戦争~~ 従軍者
の ~~死傷~~ 死傷に代りて ~~犠牲~~ 犠牲の範囲を
進化的 (evolutionäre) 発展に与へるべきか。
国際性は単なる Gesinnung として、民族的
~~感情~~ 感情に對し清純 Negativität として尚更なる、
却て政治的實際的の同様に今日の同様に
なり」 S. 14-15.

konsequente

Hilferding. Realistischer Pazifismus.

die Gesellschaft. II. Bd. 1924. 572-577.

「戦争の経過及その発展は外交政策の政治的及
経済的の衝動力及之に伴ふ平和的解決の
必要の必要の条件を ~~根本~~ 根本的に変化せし
むる」 S. 572.

「資本主義の本質は好戰的ではあるか？」

戦争
資本の膨脹は 世界市場支配戦に於ける資本主義諸
強国の 暴力的 Explosion に導かぬか！ 即ち 資本主義
社会に於ける 平和政策 本質的には 社会主義的 ^{政治的} 平和政策
闘争以外には 存在し得ぬか？

資本主義の目的は 利潤の増大と
常に 拡大する 資本主義の 衝動は ① 達成のためは 二つの
手段を知る。一は 競争による 弱者を 征服すること。他は
強者と *Interessengemeinschaft* に 参加することである。 S. 99

資本主義の目的は 高次の段階に於ける 競争の
犠牲は 競争の 結果として 競争の 代り 社会
の 有効な 方法である。 S. 99-100。
死活的

このことは 正統政策に 類推される。 S. 100。
戦争禁止の 外交政策は 継続的 平和政策の 勝利を
豫むる 必要を知る。 S. 101。

英. 米. 日. の 外交の 検討。
英 - 投資の 増大の 利益
日 - 投資の 増大の 利益
米 - 投資の 増大の 利益

米. Washington Konferenz. Dec. 1921.
海軍の 縮小。
Mellon-Baldwin の 協定
米は 政府の Friede & Rechtsicherheit を 希求す。
投資, 貿易上。

強国の 平和の 政策。 *realistischer Pazifismus* の
Demokratie の 発達は 平和の 政策。と 呼ぶこと。

Demokratie は 軍事的 政治的 意思の ^{平和的 民衆的} 平和の
意思に 服従すること。 平和の 意味は *Militarismus* と 呼ぶこと。 支配的。 S. 111。
戦後の 平和の 傾向。 S. 112。
戦争技術の 変化により 大戦争の 惨害は 大とすべし。 従って
平和確保の ための 努力の 他は 以て 無きことなり。 S. 112

Organisationsprobleme. 強国の 平和の 問題。 S. 110

強国の 平和の 問題。 軍備, 軍備の 縮小。 "die
grossen Möglichkeiten seiner Entwicklung" S. 114

The China Year Book 1929-30
 Ed. by H. G. W. Woodhead. (Editor of the "Peking & Tientsin Times")

Foreign Population in China, 1927,
 Customs Estimate.

	Firms	Persons
米	551	6,970
英	617	11,714
日	171	2,588
德	307	2,719
法	4,848	201,721
露	595	68,097
总计	7,485	302,153

Principal
 Coal Mines.

	1927	1926年统计	1927年
Chihli 省	4,416,009	3,038,780	4,629,764
Pushun 撫順	3,129,835	5,802,950	6,918,800
Total of all actual production	15,259,610	14,481,521	

Coal 煤	1923	1924	1925	1926
Import { Coal	1,366,108	1,610,016	2,752,927	2,897,572
{ Coke				

Export { Coal	3,108,682	3,202,352	3,002,826	3,085,722
{ Coke				

Export is constant, Import 增加 (北京及天津供煤不足故)

香港

Non-Chinese	16,500	如英籍人口 12 萬 4,300 人
Chinese	961,450	
計	977,950	

威海衛

1921年 Washington 公約 12 萬 2 千 5 百 人
 1927年 12 萬 2 千 5 百 人

Foreign Trade

	1923	HK. Tls	1924	1925	1926	1927
香港 入口	248,083,456		243,919,357	176,311,082	124,472,670	221,572,777
香港 出口	175,796,249		173,162,926	114,714,974	92,802,031	157,697,535

Statesman's Year Book 1928.

単位 1000 英	英領輸入		英輸出		外債の増減	
	1926	1927	1926	1927	1926	1927
China (割拠 20%, 威海衛 10%)	11,537	12,223	16,407	9,691	242	120
Japan (占領地 10%)	7,205	8,167	14,005	15,257	276	233
Br. India	57,638	65,913	81,711	85,058	1,402	1,292
Hongkong	665	477	3,182	4,910	67	91
外債合計	865,205	852,330	336,195	382,455	101,912	101,015
英債合計	376,156	367,057	316,851	326,651	23,683	22,082
Grand Total	1,241,361	1,219,387	653,047	709,105	125,495	123,063

Konrad Zweig. Die ~~Internationale~~ internationalen Kapital-
Strukturwandlungen des englischen Kapital-
exports.

Weltwirtschaftliches Archiv 27 Bd. 1928

Stand von 1913年

英債 単位 1000 英

1,979,995

外債 1,939,666

計 3,919,661

USA	754,617
France	317,565
Germany	147,967
Japan	43,883
China	99,019
India	61,143
Other	66,627
Other	44,912
Other	62,816

英債投資勢力の推移 (1913年と1927年) 1000 英

日. 英. 比較	1913		1927	
	1913	1927	%	%
日. 英. 比較	6,600	300	4.11	95.89

英債の投資先 (1913年と1927年) 1000 英

投資先	1913年		1927年	
	1913	1927	1913	1927
USA	23,000	200	23,000	200
France	21,000	7,000	21,000	7,000
Germany	18,600	3,500	18,600	3,500
Japan	6,600	—	6,600	—
China	5,500	60	5,500	60
India	2,500	—	2,500	—
Cuba	2,100	900	2,100	900
Other	1,800	—	1,800	—
計	81,000	11,600	81,000	11,600

朝鮮人の内地送航 善生永叶

- 大正4. 世界大戦. 内地好景. 送航増す.
- 12. 自京大震災. 朝鮮増. 送航制限を加ふ.
- 13. 内地秩序恢復. 朝鮮. 送航制限を撤廃す.
- 14. 内地経済界不況. 送航制限.

朝鮮人内地送航及内遷者数.

	送航				内航			
	学生	労働者	其他	計	学生	労働者	其他	計
大正13	3,146	10,436	14,708	122,215	62,740	10,811	75,927	148,578
14	3,482	10,739	20,399	131,272	3,477	93,804	157,190	112,471
15-昭1.	4,887	63,979	22,226	91,092	5,059	63,413	15,237	83,709
昭2	5,008	102,434	30,574	138,016	5,022	68,871	20,098	93,991
3	6,087	130,838	29,361	166,286	5,566	92,879	19,077	117,563

内地在留朝鮮人人口. 昭和3, 6月現在

一戸を構へる戸数	22,607戸	男 54,035人 女 26,261人	計 86,296人
一戸を構へざる戸数以上同一町村に居住せしもの		男 70,276人 女 13,297人	計 83,573人
其他		男 48,099人 女 5,659人	計 53,758人
合計		男 168,410人 女 45,217人	計 213,627人

現在に於て 25万人内外に及ぶと云ふ.

朝鮮人在住府別


しがは便郵

市内 目黒 己 自由ヶ丘 二九二

矢内原 忠雄 様

橋本 己 柏木 三ノ三六八

関根 正雄



人々大差あり.

挿入文書

朝鮮人の内地渡航 善生永博

- 大正4. 世帯大改. 内地好号丸. 渡航増大.
- 12. 南草大改. 油断増.
- 朝鮮. 渡航制限増大.
- 13. 内地秩序恢復.
- 朝鮮. 渡航制限を撤廃.
- 14. 内地渡航者不見. 渡航者増大.
- 渡航制限.

朝鮮人内地渡航及内遷者数.

	渡航				内航			
	学生	労働者	其他	計	学生	労働者	其他	計
大正13	3,146	10,436	14,708	122,215	62,740	10,811	75,927	148,578
14	3,482	10,739	20,399	131,277	3,477	93,804	15,190	112,471
15-昭1	4,887	63,979	22,226	91,092	5,059	63,413	15,237	83,709
昭2	5,008	102,474	30,574	138,016	5,022	68,871	20,098	93,991
3	6,087	130,838	29,361	166,286	5,566	92,879	19,077	117,563

内地在留朝鮮人戸口. 昭5.3.6月現在

一戸を構へる戸口	22,607戸	男 50,035人 女 26,261人	計 86,296人
一戸を構へずの上戸以上同一町村に居住者		男 70,276人 女 13,297人	計 83,573人
其他		男 48,099人 女 5,659人	計 53,758人
合計		男 168,410人 女 45,217人	計 213,627人

現在人口は 25万人内外に及ぶと云ふ.

朝鮮人在住府知事別

大正府	45,133人
青森府	18,185
秋田県	17,334
岩手県	14,649
山形県	13,157
福島県	12,368
山梨県	8,289
北海道	8,125
新潟県	7,570
長野県	7,214
最少人口	
秋田県	170人
青森	169
山形	6

其の少くは 三人以上五人以下に在り.

自由労働者 土工 坂夫 等と云ふ.

賃銀 = 新労働者. 労務に従事する内地人の大差と云ふ.



きかは便郵



橋
橋
柏木
三ノ三
八
関根
正雄

郵長

矢内原忠雄様

市内月黒己自由ヶ丘二九二

挿入文書

二帝大聖書研究會

一 五月廿五日(金) 二十七時

一 山上集會所

一 セカリヤ書

御出缺御知らせ下さ

与者 岡根 乙雄

私儀先頃表記の所へ移轉致しました
甚だ略儀乍ら左御令せ下さ

挿入文書

Kautsky, Die Befreiung der Nationen.
Die Neue Zeit 35 Jg. 2. Bd. 1917.

④ Cunow, Partizansammenbruch: 3卷の地理的権力論, S. 147
Neue Rheinische Zeitung (1849) - 1849 Marx-Engelsの
論議の解説 S. 147

Marx-E. は - Nation から 他 Nation を 征服 する こと
批判を認めるといふ; 個々の Nation の 革命 に対し
europäische Revolution の Oberhoheit を 有する こと 主張
した。 1849 allgemeine Revolution と 交渉 する こと
阻害 する こと 場合 あり。 個々の Nation の 自己 権 を 否定
する こと。 ¹⁸⁴⁹⁻¹⁸⁵⁰ internationale Standpunkt
を 主張。 S. 149-150

„Die Herstellung des modernen Nationalitätenstaates durch
Anpassung der Nationalitäten an den Staat!“

Nationalstaat --- ^{Spalität} 二 Nation 一 Staat を 形成 する
Nationalitätenstaat --- 数々の Nationalitäten の 一團 として
組織し 其中 二 支配的 Nationalität の 中心 を 為す こと
(例として 普魯士)。 S. 185, 188.

純粋に 農業 的 なる Nationalitäten は 工業 的 Nationalitäten に 対し
漸進 的 地位 に 立つ。 ¹⁸⁴⁹ „So werden Nationalitäten,
die agrarisch bleiben, im Nationalitätenstaat
nach und nach aufgesaugt und verschwinden
schliesslich. Sie sind unrettbar dem Untergang
geweiht.“ ¹⁸⁴⁹ Scotland, ¹⁸⁴⁹ Gaels, ¹⁸⁴⁹ Bretons,
¹⁸⁴⁹ Basques, etc. S. 184.

staat ^{kleine}
しかし 工業 的 一團 内に あり たる „Völkerabfälle“ の 大 なる
Nationen に ~~aus~~ Aufsaugen する こと。 Prozess は
小 なる 大 なる 一團 内に あり たる Aufsaugen する こと である。
S. 185

„Die Herstellung des modernen Nationalitätenstaates
durch Anpassung des Staats an die Nationalität.“
S. 193 etc.

一團 内に あり たる 少数 Nationalitäten の 一團 中心 的 Nationalität
に Aufsaugen する こと 時は Nationalstaat を 成立 する こと。
然し 各 Nationalität の 自己 権 を 要求 する こと
staatswesen を 獲得 する こと 時は 各 Nationalitäten-
staat は 分解 する こと。 一團 内に あり たる Klassen-
gegensätze は nationale Gegensätze に 対し zurück drängen する こと。

現今 生活 的 条件 的 自由 条件 的 用 途 的 決定 する こと 時
大 なる 需要 あり。 ¹⁸⁴⁹ Weltmeer の 出口 を 有する こと。 必要 上
海港 を 有する こと 地方 的 Nationalität は 之 を 有する 大 なる
Nation に 附随 する こと。 Nationalitätenstaat を 形成 する
こと 時。 又 海港 を 有する こと Nationalstaat は
海港 地方 の 獲得 を 必要 と する こと。 ¹⁸⁴⁹ Nationalitätenprinzip
に 基き たる 自己 権 を 要求 する こと 時 降 降 的 である。
Hafenstadt
その 場合 的 自由 条件 的 決定 する こと 時。 „Das Ganze
ist wichtiger als der Teil, und es geht nicht
an, dass das ökonomische Leben zahlreicher
Millionen eingeschnürt wird um der nationalen
Wünsche einiger Tausende willen.“ S. 188

Nationalitäten - Nationalitätenstaat = 民族の紐帯

1343.

字彙.

Demokratie und Milizsystem (Schweiz)

5.199.

一国内に於ける民族の統一は、Vergewaltigungに及ぶ。同時に又、大衆の平等を以て中心の原理として、社会の自由と同一作用は、社会の平等と個人の平等とを以て得たものと見らる。[老人の] 民族の平等の底に及ぶは、Nationalitätに對する Interesse である。[若くは] Demokratieに對する Interesse である。

Neue Zeit 1. Ergänzungsheft. 18. Jan. 1908)

S. 200

Kautsky, Nationalität und Internationalität.

Otto Bauer 氏の批評 S. 208 以下

社会主義の目的は Nationale Kultur の 發展に在り。是は、

Nationalität は Sprachgemeinschaft 也。Bauer によれば

Charaktergemeinschaft である。Nationalcharakter,

Nationalkultur 等は、實に一種の Phantomen

に過ぎず。 S. 244

Nationalitätenstaat 内には、Nationalitätenの Gegensatz は、民族性、民族文化等の 差異を生ずる。差異は、計算に及ぶ。In nationale Gegensatz は、Kampf um

den Markt und um die Staatsgewalt. "より、

自己民族の利益を、社会の利益に一致し、

学術上又は政治的勢力を得る上に在り。便宜なれば、

S. 247.

か(の)の關係は、社会主義の下に在り。Markt 及 Staatsgewalt

と在り。言語の差異は、権力に對する 障礙となる。何れに依り、

権力の中心を失ふ。Nation (Sprachgemeinschaft

と在り) は、Verwaltungsbezirke となる。[若くは] 各人は

他民族の利益を、更に世界に統一せし、

行政に Verwaltungsbezirke としての Nationalität

と在るの意義を、失ふ。Nationalität

の 分化に及ぶは、同化、民族的文化への Zugang へ

及ぶ。[若くは] 世界的文化への Zugang

は、社会主義の 目的 Ziel 也。 S. 249

Internationalismus は

Weltkultur の Einheitlichkeit である。[若くは] 内部に在り、

何れは、必然の事 (文化の一般化、高次の一般化、大衆化)

の 第一は、Luxus の 減少に在り。[若くは] 高次の向上。 S. 246

Nationalitätenproblem は、国家の統一に在り。[若くは] 国家の統一

は、[若くは] 国家の統一に在り。[若くは] 国家の統一

Gewalt によらずに在り。[若くは] 国家の統一に在り。[若くは] 国家の統一

は、[若くは] 国家の統一に在り。[若くは] 国家の統一

は、[若くは] 国家の統一に在り。[若くは] 国家の統一

係り、~~は~~ Naturbedingungen ^後 Verkehrsgebiet ^の 7/9
し、この一部を分取つたのは 全地域の生産 ~~の~~ 過剰を消費し
全労働人口の利益を甚しき宝物とする場合には ^{この} 地帯の利益が
分取 賛成の意思を示し、^{土地} 土地の譲渡は ^{土地} 土地譲渡すべし。

土地譲渡の場より土地譲渡の内部と批評するに決り
=つる場を述べ。 "Wir müssen einmal fragen,
① ob die Bevölkerung des betroffenen Gebiets
damit einverstanden ist, und dann,
② ob es für den Fortgang des Produktions-
prozesses und damit für die arbeitende
Bevölkerung des Staates, dem das Gebiet
bisher zugehörte, entbehrlich ist oder
nicht."

①と②と解決の時
Kentuckyは①に即
決す。従つて解決
は、労働者の利益を
代表する権力に在る。

"Macht haben" といふ
土地譲渡は、^{土地} 土地
譲渡す。Macht haben
といふは、^{土地} 土地
譲渡す。Macht haben
といふ。

Das Bedürfnis der Macht haben, ihren
Machtbereich unverkürzt zu erhalten,
kommt für uns natürlich nicht in
Betracht. " s. 278.

Kantzyk, Nationalität und Internationalität.

Ergänzungshäfte zur Neuen Zeit. 1908.

1. Begriff der Nation

Otto Bauer 氏 (Begriff der Nation), 200 ff.

Schicksal = Kulturgemeinschaft ist Nation & 1009
Gemeinschaft & 200 ff. 1009 (die Grenz,
die Gemeinde, der Staat, die Zunft, die
Partei, die Aktiengesellschaft & -9 Schicksals=
und Kulturgemeinschaft 27. 5.3.

Nationalcharakter & 200 ff. 1009 (500 ff. 1009
& 200 ff. 1009) 5.5.

Bauer 氏 Sprache & 200 ff. 1009 5.6.

2. Die Konsolidierung der Nation.

(a) Sesshaftigkeit.

(b) Territorium.

Sprachgemeinschaft ^{200 ff.} 1009 nationale
Gemeinschaft & - 200 ff. 1009 Territorium
の關係は; 「Nation は 多くの人の存在の
einfache Erscheinung 1009; 多くの
ある 1009 Produkt 1009. 200 ff. 1009 Nation 1009
Sprachgemeinschaft 1009 1009 1009 1009
1009 1009. 5.9.

(c) Sprach.

(d) Schrift.

3. Die internationale Kulturkreise.

Sprache.

4. Der Nationalstaat.

Warenproduktion - Händler, Intelligenz.

之等は 外国の文化の文化の Vermittler

1009 1009 1009 1009 1009 1009

1009 1009 1009 1009 1009 1009

1009 1009 1009 1009 1009 1009 5.18

Staat (Burekratie) 1009 1009 1009

(Nationalstaat, National Sprache 1009 1009)

1009 1009 1009 1009 1009 1009

1009 1009 1009 1009 1009 1009

Otto Bauer 氏 Nationalitätenstaat 1009 1009 1009 1009 1009 1009 5.19-20.

1009 1009 1009 1009 1009 1009 5.23.

5. Der Nationalitätenstaat.

Nationalitätenstaat 1009 1009 1009 1009 1009 1009

1009 1009 1009 1009 1009 1009

5.25.

6. Österreichs Zukunft.

Staat 1009 1009 1009 1009 1009 1009

1009 1009 1009 1009 1009 1009

1009 1009 1009 1009 1009 1009

1009 1009 1009 1009 1009 1009

1009 1009 1009 1009 1009 1009

1009 1009 1009 1009 1009 1009

1009 1009 1009 1009 1009 1009

後者の場合は 級別毎の領域を以て Personalprinzip
の適用に基き 其の下の Glieder を結合せしむ
べしとす。 S. 28.

Kultur は 常に international とすべし 然し 此の international
nationalmoment あり (すなわち 民族性)。 又 此の international
精神を überwinden せしむる Proletariat の任務なり (すなわち 階級克服)。
Otto Bauer は Nation とすべし Kulturgemeinschaft
より、Sprachgemeinschaft へと進み、
同様な Kultur, Gemeinschaft へと
進み、nationalen Charakter & internationalen
Charakter とすべし ~~Nation~~ Nation
とすべし ²¹⁰⁹ internationalen Moments とすべし
此の語に Theoretik, S. 35.

内地米界に於ける蓬莱米の地位

台湾時報 No. 129 昭和5.8.

台湾米生産額 670万石

内 蓬莱米 145万石 { 第一期作 110万石
第二期作 35万石

移出額 230-240万石

内 蓬莱米 120万石 { 100万石は内地に於ける諸境期 6.7.8=5月に
30万石は 9.10月に於ける 移出額

丸米 80万石 { 内 70万石は正月の祝餅と正月に於ける
在米米及長米 30-40万石

期作別に於ける移出額は (a) (b) の一に在る

内地米高は 一石 28円 32円 月位 白米は 一石 28円 2月の蓬莱米を混合して 需給の嗜好に依りて 米の調合に資する。(蓬莱米他種の割合は好く、新米の備蓄が乏しい故に)
内地諸境期に於ける米價暴騰を抑制す。

1. 蓬莱米の消費地

東京 26万石 四国地方 20万石 沖縄 18万石
大阪 8万石 京都 8万石 名古屋 7万石
中国 5万石 沖縄 5万石 其他四国、北陸、近畿等

蓬莱米は内地に於ける米價暴騰は米穀調節会の使命に依りて
内地米高を抑制せしむるに在り、米穀調節会は内地米
米統制同族から台湾米を内地に移出せしむる。

Felix M. Keessing
Modern Samoa.
A Study of Dependency Government
and of
Racial and Cultural Change

Table of Contents

- Chapter I. Samoa - A General Survey
1. Introductory Description.
 2. A Brief Historical Sketch.
 3. The Island Community
 4. Distribution of Population
 5. Samoan Life and Characteristics.
- Chapter II. The Political Experience of Samoa.
1. Samoan Political Organization
 2. Early Political Adjustments
 3. Control by the Three Powers
 4. German Samoa
 5. New Zealand Control
 6. The Politics of American Samoa
- Chapter III. The Modern Problem of Native Administration.
1. The Native Setting
 2. Organization of Native Affairs in Western Samoa, 1920-27.

3. The Re-emergence of Conflict
4. The System of Administration a Critique
5. A Temporary System Instituted
6. The Man of Western Samoa
7. Possible Lines of Reorganisation
8. Native Affairs in American Samoa

Chapter IV. Justice and Social Order

1. The Old Samoan Social Order
2. Earlier White Influences
3. Judicial Administration in Western Samoa
4. The Records of Social Disorganisation
5. The Non-native Community and the Law
6. The Native and the Law
7. The Changing Samoan Behaviour
8. Justice in American Samoa
9. Summary

Chapter V. Land Ownership and Tenure

1. The Early Land History of Samoa
2. Land in Western Samoa
3. Land in American Samoa
4. Samoan Land Usages
5. Changes Brought about in Modern Days

6. Official Control and Direction - Western Samoa

7. Official Control and Direction - American Samoa

8. The Future Land Problem

Chapter VI. The Economic Life

1. Samoan Economic Life
2. New Economic Influences
3. Modern Economic History - Western Samoa

4. Economic Position of Non-Natives

5. New Zealand's Native Policy - Economic

6. The Samoans and Western Economy

7. American Samoa - Modern Economic Life

8. Summary

Chapter VII. Contract Labour in Western Samoa

1. Early History

2. New Zealand and Chinese Labour

3. The "Free Labour" System

4. Social Status of Labourers

Chapter VIII. The Finances of Administration

IX. Health and Medical Work

1. Conditions in Earlier Days

2. Modern Health Organisation - Western Samoa
 3. Modern Health Organisation - American Samoa
 4. Health Work in its Samoan Setting
- Chapter X. The Samoan and Religion
1. A Short Historical Survey
 2. From Old Religion to New
 3. Religion in Modern Samoa
- Chapter XI. Educational Influences
1. The Development of Schools - Western Samoa
 2. The Development of Schools - American Samoa
 3. Educational Problems Today
- Chapter XII. The People of Mixed Parentage
1. ^{the} Emergence of a Mixed Population
 2. The Trends of Miscegenation
 3. The Mixed People in the Island Society
 4. Chinese - Samoan Intermixture
 5. The Control of Miscegenation
- Chapter XIII. Modern Samoa - A Review

Bibliography

- (a) Official records
- United States Congressional Records, idem, pp. 765-69; U.S. Bureau of Foreign Commerce and other state department papers, idem, pp. 170-72.
 - Grosse Politik der Europäischen Kabinette, 1871-1914.
 - Ordinances and Regulations of the Municipality of Apia.
 - ²⁴/₁₉₉ Die deutschen Schutzgebiete in Afrika und der Indes, Colonial Office, Berlin, 1911-12, 1912-13.
 - Former German Possessions in Oceania, Handbook 146, Foreign Office, London, 1920 (prepared by the Historical Section for the Peace Conference).
 - ²⁴/₄₅₅ German Colonization, Handbook 42, idem.
 - British and Austrian Trade in the South Pacific, official report of the Australian government, 1918.
 - Visit of Parliamentary Party to Pacific Islands, New Zealand Parliamentary Paper, 1900.

✓ New Zealand Parliamentary Debates,
1920, 1921, 1923, 1926, 1927.

✓ Annual Reports of the Department
of Health, idem.

✓ Trade, Commerce, and Shipping,
annual reports, idem.

✓ Minutes of the Permanent Mandates
Commission, Geneva; for other
official publications of the League
of Nations see a bibliography
in Wright, Mandates Under the
League of Nations, op. cit., pp. 639-40.

✓ Report of Visit by the Minister of
External Affairs, n. 2. Parl.
Papers, 1922.

✓ Report of Visit by the Minister of
External Affairs, n. 2. Parl. Papers, 1927.

✓ Report of the Royal Commission, n. 2.
Parl. Papers, 1927.

✓ Report of the Civil Service Commission,
partially made public, Wellington,
1928.

✓ New Zealand Year Book.

(B) Unofficial records:

✓ Bougainville, L. A. de. A Voyage Round
the World. translation
by Forster J. R., Dublin,
1772.

✓ Brown G. Melanesians and Polynesians,
London, 1910.

$\frac{86}{37}$ Bulow, Prince B. von. Imperial Germany,
London, 1914.

✓ Bulow, W. von. Various ethnological
articles, mainly in Globus and

Internationales Archiv der
Ethnologie, from 1895 on.

✓ Buxton, P.A. Researches in Polynesia,
Volume II, London School of
Tropical Medicine, 1928. (Gives
a medical survey.)

²⁴/₄₉ ✓ Campbell, P.C., Chinese Coolie Emigra-
tion, London, 1923.

✓ Condliffe, J.B. New Zealand in the
Making pp. 704-21, London, 1930.

✓ Dehat Angelino, A.D.A. Colonial Policy,
two volumes, Chicago University
Press, 1932. (The most comprehensive
study of the principles of administra-
tion extant.)

✓ Economic Resources of the German
Colonies, Bulletin of the Imperial
Institute, volume XV, London, 1915.

✓ Erskine, J.E. Journal of a Cruise.,
London, 185-8.

✓ Gould, W.H. Education of the Polynesian,
in the Maori and Education,
Monograph of the New Zealand
Teachers' Summer School, 1931.

✓ Dandy, F.S.C. Cultural Revolution in
Hawaii, paper presented by
American Council of Institute
of Pacific Relations at the China
Conference, 1931.

✓ Heydt, vander. Kolonial-Handbuch,
Berlin, 1912.

✓ Kotzebue, C. von. A New Voyage Round
the World, 1823-26, volume I,
London, 1830.

✓ London Mission. Defence Prepared
at the Request of the Governor,
Malua, 1901.

$\frac{32}{200}$ Lindley, M. F. The Acquisition and Government of Backward Territory in International Law, London, 1926.

✓ Mead, M. Social Organisation of Manua, Bulletin of the B. P. Bishop Museum Honolulu, 1931.

✓ Meredith, S. H. How New Zealand Administers its Mandate, Auckland, 1927.

✓ La Perouse, J. F. G. de. Voyage of La Perouse, translated from the French, two volumes, London, 1798.

✓ Pritchard, W. T. Polynesian Reminiscences, London, 1866.

$\frac{23}{40}$ Roberts, S. H. Population Problems of the Pacific, 1927.

✓ Schnee, Heinrich, German Colonization, Past and Future, Leipzig, 1922, London, 1928.

✓ (Schultz-Ewerth, E. The most Important Principles of Samoan Family Law, Journal of The Polynesian Society, July, 1911.)

✓ Smith, S. P. Hawaiki, Wellington, 1921.

✓ Stevenson, R. L. A Footnote to History, New York, 1892.
Uailima Letters, Chicago ¹⁸⁹⁵

✓ Turner, G. Nineteen Years in Polynesia, London, 1861.

✓ Wilkes, C. Narrative of the United States Exploring Expedition, volume II, Philadelphia, 1845.

✓ Williams, J. A Narrative of Missionary Enterprise in the South Sea Islands, London, 1838.

Williamson, R. W. The Social and Political Systems of Central Polynesia, three volumes, Cambridge University Press, 1924.

Wright, G. Mandates Under the League of Nations, Chicago University Press, 1930.

研究室在庫

幣原坦, 南島紀行 昭2. 112/190
下田将美, 南島經濟記 昭4. 5/622
不明, 南島志(写本) 112/195
西邨捨三, 南島紀事外篇 昭19. 5/226
佐喜眞興英, 南島談話 大14. 111/47
笹森儀助編, 南島探險 昭27. 5/196
南洋廳編, 南洋群島調查資料 昭2. 24/130
南洋廳編, 南洋群島事情 昭5. 10/18
吉田信友, 南洋事情 昭2. 10/17
海外事情普及會編, 南洋事情 昭2. 8/159
台湾總督官房調査課編, 南洋各地物産, 交通, 人口地図 昭4. 10/14
全, 南洋各地邦人栽培企業要覽 大15. 24/124
全, 全 昭5. 24/124
全, 全 昭4. 24/124
外務省編, 南洋華僑と金融機関 大6. 25/228
台湾總督官房調査課編, 南洋年鑑 昭4. 10/15
全, 南洋に於ける邦人の事業 大15. 10/9
台湾銀行編, 南洋に於ける華僑 大8. 24/135
南滿洲鐵道株式会社編, 南洋に於ける支那人 大15. 8/185
全, 全 大15. 24/87
台湾總督官房調査課編, 南洋に於ける養蠶業 昭4. 11/456
南洋協會編, 南洋の風土 大5. 5/512
全, 南洋の護謨栽培事業 大15. 11/650

松尾音次郎, 南洋の産業及其富源 大.5 8/74
 台湾總督官房調査課編, 南洋及印度に於ける養豚業と
 豚肉加工品供給状況 大.6 11/620
 三井高維, 南洋旅行記 大.12 5/473
 南洋協會譯, 南洋栽培企業比較論 大.14 11/98
 文部省專門學務局編, 南洋新占領地視察報告
 大.5 10/11
 全 全 大.6 10/11
 南洋拓殖株式会社編, 南洋視察談 大.3 24/119
 農商務省山林局編, 南洋諸島林況視察復命書
 大.2 11/180

Zeitschrift
 für
 Kolonialpolitik, Kolonialrecht
 und
 Kolonialwirtschaft.

(I)

- Jacobi D. Die Verbreitung der deutschen Sprache
 in den Schutzgebieten. Januar 1904.
- Schnee C. Land und Leute der Marshallinseln. April 1904.
- Cederholm (Oberleutnant zur See d. R.)
 Unsere Karolinen. Juli 1904.
- Hoffmann H. D. Das deutsche Kolonialgewerberecht. März 1906.
- (G. H.) Die Karolineninsel Jap. April 1906.
- Hoffmann H. D. Das Deutsche Kolonial-Gewerberecht. Mai 1906.
- Schaub S. G. Die Karolinen-Insel Jap. Juni 1906.
- Saffen F. J. Die staatsrechtliche Natur der
 deutschen Schutzgebiete. August 1906.

Herzog H. Weitere Entwicklung der Post- und Telegrapheneinrichtungen und des Post- und Telegraphenverkehrs der deutschen Kolonien. Februar 1907.

Rönig. B. v. Die wirtschaftliche und finanzielle Entwicklung der deutschen Kolonien bis zum Jahre 1907. Oktober 1907.

Schott. Die Entwicklung des Landels der deutschen Kolonien im Lichte der Statistik. März 1908.

Koloniale Gesetze und Verordnungen im Jahre 1907. April 1908.

Campstätt O. Fürst Bismarcks kolonialpolitische Initiative. Juni 1908.

Koloniale Gesetze und Verordnungen im Jahre 1908. Mai 1909.

Hermann R. Zur Statistik der Eingeborenen der deutschen Südseegebiete. Juli 1909.

Hermann R. Zur Statistik der Eingeborenen der deutschen Südseegebiete. August 1909.

Koloniale Gesetze und Verordnungen im Jahre 1909. Dezember 1909.

Saffen. Das Personenstandsrecht in den deutschen Kolonien. April 1910.

Goldberg G. Lichtenfelde. Die technischen Fortschritte unserer Schutzgebiete in Afrika und der Südsee während des letzten Berichtsjahres. Mai 1910.

Kolbe W. Reinsiedlung in Australien und der Südsee. August 1910.

Koloniale Gesetze und Verordnungen aus dem Jahre 1910. Februar 1911.

Die wirtschaftliche Lage der Insel Guam. April 1911.

Goldberg G. Die technische Lage der deutschen Schutzgebiete in Afrika und der Südsee im Berichtsjahre 1909-1910. September 1911.

Jacobi E. Die kolonialen Besetze und Verordnungen ^{Februar} des Jahres 1911. 1912.

Friedenau W. Wirtschaftliches und Ethnographisches aus Kaiser Wilhelm-Land. April 1912.

Die kolonialen Gesetze und Verordnungen des Jahres 1911. Mai 1912.

Goldberg G. Technische Fortschritte unserer Kolonien in Afrika und der Südsee während des letzten Berichtjahres 1910/11. August 1912.

Schnee Bilder aus den Carolinen und Marianen. ^{September} 1912.

Hesse H. Zur Geltung des bürgerlichen Rechts in den Schutzgebieten. März 1904.

Schreiber-Stettin. Die Sprachenfrage in den deutschen Kolonien. Februar 1904.

Freiherr K. Die Konzessionen der deutschen Kolonialgesellschaften und die Landfrage in den deutschen Schutzgebieten. Mai 1904.

Herzog H. Entwicklung des Post- und Telegraphenverkehrs der deutschen Kolonien seit 1899. Juni 1904.

Dieholtz J. ^{Herbertshöhe} C. P. Beiträge zur Kolonialbankfrage. September 1904.

Die Befugnisse schwarzer Polizisten gegenüber der Weissen. Februar 1905.

Brose M. Verzeichnis der von der deutschen Kolonialgesellschaft in den Jahren 1884 bis 1904 herausgegebenen Schriften und Karten. April 1905.

Odler v. Hoffmann-Göttingen Mai
1905
Kolonialregierung und Kolonialgesetzgebung.

Die §§ 8-10 des Schutzgebietgesetzes. August
1905

Odler H. v. Hoffmann
Die Verordnung des Gouverneurs von
Deutsch-Neu-Guinea, betreffend
das Eherecht unter den Eingeborenen Oktober
1905

Richter F. Die Frau und die Kolonien (P. 695) September
1905

Die wirtschaftlichen Verhältnisse
unserer Schutzgebiete (P. 507) Juli
1906

Hennings R. Koloniale Erfolge, ihre Ursachen
und Wirkungen. Dezember
1906

Fiebig. Die Bedeutung der Alkoholfrage für
unsere Kolonien. November
1907

Fiebig. Die Bedeutung der Alkoholfrage für
unsere Kolonien. Januar
1908

Fiebig. Die Bedeutung der Alkoholfrage für
unsere Kolonien. Februar
1908

Freitag. Religion und Mission im deutschen
Kolonialrecht. (P. 35-6) Mai
1908

Doerr F. Deutsches Kolonialstrafrecht (P. 330) "

Jäckel H. Die Neu Guinea Compagnie Januar
1909

Langen-Opia E. Die Besteuerung des unbebauten
Landes in Deutsch-Samoa. Februar
1909

Herrfurth K. Fürst Bismarck als Kolonialpolitiker. Oktober
1909

Jäckel H. Die Neuguinea-Compagnie November
1909

Gallus. Die Deutsche Kolonialkongress 1910
und seine Vorläufer Juli
1910

Born S.
Sassen Zwangsvollstreckung und Rechtshilfe
in den deutschen Kolonien September
1910

Naendrup H. Zur finanziellen Selbstverwaltung und Kommunalverwaltung der Schutzgebiete. Mai 1911.

Giese F. Die Fortschritte der deutschen Kolonialrechtswissenschaft in den Jahren 1909 und 1910. Juni 1911.

Allech. Gattagercha und Rautschuk in Kaiser-Wilhelm-land. August 1911.

Deeken R. Die Arbeiterfrage in Samoa. Dezember 1911.

Becker Grundzüge der kolonialen Eingeborenenhygiene. Januar 1912.

Stengel Die rechtliche Stellung und die Verfassung der deutschen Schutzgebiete (F. 855). Februar 1912.

König Das Verordnungswesen des Kaisers und des Reichskanzlers nach dem Schutzgebietengesetz. Mai 1912.

Giese F. Rundschau über die neueste Kolonialrechtswissenschaft. Oktober 1912.

Koloniale
Monatsblätter

I.

- | | | |
|------------|--|--------------------|
| Eiemann H. | Ueber die Bedeutung der <u>Tuberkulose</u> bei den Naturvölkern. | September
1913. |
| Kälz | Die Presse in den deutschen Kolonien. | Juni
1914. |
| Schulte A. | Der wirtschaftliche Wert der deutschen Kolonien. | Juli
1914. |

II.

- | | | |
|-----------|--|-------------------|
| | Rundschau. | Mai
1913. |
| Hoh. | Die Wallisinseln. | November
1913. |
| Deeken R. | Die Rassenmischung auf Samoa. | März
1914. |
| Kälz | Koloniales Gesetz- und Verordnungsrecht
1913/14 | Mai
1914. |

Beiträge zur Kolonialpolitik
und
Kolonialwirtschaft.

I.

- | | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| Herzog H. | Deutsche Post in Übersee | 1899
1900
Heft X. |
| | Das deutsche Kolonialheer nach dem
Etat 1900/1901 | 1899
1900
Heft XIII. |
| | Die Kolonialbehörden deren Zuständigkeit
und Verfahren. | 1900
1901
Heft I. |
| Orayer M. | Volk und Juelu der östlichen
<u>Karolinengruppe.</u> | 1900
1901
Heft II. |
| König | Militär und Marine in den deutschen
Schutzgebieten. | 1900
1901
Heft III. |
| König | Die Finanzen der deutschen Schutzgebiete I. | 1900
1901
Heft IV. |
| König | Die Finanzen der deutschen Schutzgebiete II. | 1900
1901
Heft V. |
| " | " | 1900
1901
III. Heft VI. |
| König | Handel und Verkehr in den deutschen
Schutzgebieten. | 1900
1901
Heft VIII. |

Rönig	Handel und Verkehr in den deutschen Schutzgebieten. II.	$\frac{1900}{1901}$ 1 Sept 9.
"	" III.	$\frac{1900}{1901}$ 1 Sept 10.
Hillemanns	Unsere Kolonien im Jahre 1900 II.	$\frac{1901}{1902}$ 1 Sept 3.
Jacobi.	Die Besteuerung der Eingeborenen.	$\frac{1901}{1902}$ 1 Sept 4.
	Die wirtschaftliche Entwicklung unserer Schutzgebiete in Afrika der Südsee.	$\frac{1901}{1902}$ 1 Sept 18.
	Die Insel Guam	$\frac{1902}{1903}$ 1 Sept 1.
Schroeder H.	Auf der Reise nach <u>Saipan</u> (Marianen) Tagebuchblätter I.	$\frac{1902}{1903}$ 1 Sept 5.
Schroeder H.	" II.	$\frac{1902}{1903}$ 1 Sept 6.
"	" III.	$\frac{1902}{1903}$ 1 Sept 7.
Holfer ^{P.} S.	Die <u>evangelischen Missionen</u> in den deutschen Schutzgebieten II.	$\frac{1902}{1903}$ 1 Sept 16.

Krieger M.	II. Über Handel und Verkehr aus Neu-Guinea	$\frac{1899}{1901}$ 1 Sept IV.
Schnee.	Unsere schwarzbraunen Landelente in Neu-Guinea IV.	"
Reinecke	Deutsch-Samoa.	$\frac{1900}{1901}$ 1 Sept 13.
"	" II.	$\frac{1900}{1901}$ 1 Sept 14.
Hermann K. A.	Vorschläge zur <u>kolonialen Bevölkerung</u> <u>ungestatistik</u> .	$\frac{1900}{1901}$ 1 Sept 17.
Dove.	Meteorologische Beobachtungen aus den deutschen Schutzgebieten	$\frac{1901}{1902}$ 1 Sept 1.
Quiburg H.	Unsere Kolonien im Jahre 1900 I.	"
	Zur Arbeiterfrage im Bismarckarchipel	$\frac{1901}{1902}$ 1 Sept 8.
	Die Entwicklung des Bismarckarchipels	$\frac{1901}{1902}$ 1 Sept 4.
	Die Fidschi-Inseln im Jahre 1901	$\frac{1902}{1903}$ 1 Sept 2.

Reinecke. Die wirtschaftliche Entwicklung
Samoa I. ¹⁹⁰²
1903. 1deft 3.

" " II. ¹⁹⁰²
1903. 1deft 4.

Bülow Die deutsche Sprache in Deutsch-
Samoa

Koloniale Rundschau.
I.

Bevölkerungsrückgang im deutschen Jahrgang
Südsee-Schutzgebiet. 1917. 1deft 6.

Die japanische Bevölkerung der
deutschen Kolonie Jahrgang
1914. 1deft 8-10.

Kolonien und Telegraphie (P. 617) Jahrgang
1914. 1deft 11-12.

Die Kolonien der europäischen
Staaten, Teil V mit 2 Karten Jahrgang
1915. 1deft 3-4.

Japans Absichten in Niederländisch-
Indien und auf den Philippinen. Jahrgang
1916. 1deft 11-12.
Japan und Niederländisch-Indien
Die japanische „Südsee“

Anti-japanische Stimmungen in
Britisch- und Holländisch-Indien. Jahrgang
1917. 1deft 1-2.
Japan und Deutschland

Das deutsche Kapital nach dem
Kriege. Jahrgang
1918. 1deft 1-2.

Australien verlangt die deutschen
Südsee-Kolonien. Jahrgang
1918. 1deft 9-10.
England und die Südsee-Kolonien.

Wachsender Amerikanisch-japanischer
Einfluss in Niederländisch-
Indien. Jahrgang
1921. 1deft 2.

Die Lebensaussichten der Großen
Völkerschaften in Deutsch-Neuguinea
Gemessen an der Proliferation. Jahrgang
1921. 1deft 3.

Allgemeine Rundschau / Literatur jahrgang 1921
 (P. 237 P. 240. P. 244. P. 248) 1deft 5.

Allgemeine Rundschau / Literatur jahrgang 1922
 (P. 158 -) 1deft 3.

Allgemeine Rundschau / Literatur jahrgang 1922
 (P. 203-204) (PP. 212, 219) 1deft 4.

" " " " 1922.
 (PP. 263-264) 1deft 5-6.

II.

Neu-Guinea-Co. jahrgang 1914
 Marktlage von Kopra 1deft 3

Samoanisches 1914
 1deft 4.

Neu-Guinea-Co. 1914.
 1deft 6.

Deutsche Südscephosphat Akt.-Ges. 1914.
 Deutsche Samoa-Gesellschaft. 1deft 7.
 Südscefirma Idernsheim & Co.

Die Kolonien der europäischen Staaten, Teil I mit zahlreichen Tabellen und Karte 1914
 1deft 8-10.

Deutsche Samoa-Gesellschaft 1914
 1deft 8-10.

Die Kolonien der europäischen Staaten, 1915.
 Bilder aus dem englischen Samoa. 1deft 2

Neu-Guinea im Kriege 1914.
 1deft 11-12.

Der Wert der deutschen Kolonien
 Neu-Guinea-Compagnie 1915.
 1deft 3-4.

Die „früheren“ deutschen Kolonien 1916.
 1deft 2-3.

Die Zukunft Samoas und Deutsch-Neuguineas 1917
 1deft 5-6.

Ein britischer Kolonialpolitiker über das Schicksal unseres Kolonialreiches 1917
 England macht nach moralischen Gründen für den Raub der deutschen Südsce-Kolonien 1deft 7-8.

Bücherbesprechungen (P. 472) 1917
 1deft 11-12.

Der Wert von Neu-Guinea als Deutsche
Kolonie. 1918.
1deft 1-2

England und Neuguinea 1918
1deft 9-10

Allgemeine Rundschau / Literatur ^(P. 187) 1920.
1deft 4.

Allgemeine Rundschau (P. 270, 279) 1920
1deft 6.

Allgemeine Rundschau / Literatur 1921.
(P. 45 P. 56-57.) (P. 61) 1deft 1.

Allgemeine Rundschau / Literatur 1921
(P. 91 - P. 94, 102) 1deft 2.

" " 1921.
(P. 143 - 145, P. 154) 1deft 3.

Holländisch-Indien ein künftiger
Brennpunkt politischen Lebens 1921
1deft 5.

Allgemeine Rundschau / Literatur ^(P. 296)

Die Australische Verwaltung 1921
Deutsch-Neuguineas und ihre 1deft 6.

Australische Kritik

Allgemeine Rundschau (P. 93-94) 1922
1deft 2.

Meyer H. Niederländisch-Ostindien. 1922
1deft 3

" " " " II. Teil 1922
1deft 4.

II.

Die Deutsche Kolonialliteratur von 1884-1895.
Die deutsche Kolonialliteratur im Jahre 1902.
(P. 48-58)

" " (P. 55-70) 1903.

" " (P. 68-80) 1906.

" " (P. 76-86) 1907.

" " (P. 66-74) 1909.

" " (P. 70-78) 1910.

" " (P. 63-71) 1911.

" " (P. 68-75) 1912.

" " (P. 77-84) 1913.

Koloniales Jahrbuch 1894-1895
II.

Münde R. Zur Übernahme der Verwaltung des
Schutzgebietes von Neu-Guinea 1897
durch das Reich

Brose D. M. Repertorium der deutschen Kolonial-literatur

経済資料 第九卷 第六号 (大正十二年六月一日発行)
 南洋洲諸島土着民族の衰滅的傾向に就て (続)
 ミラネシア地方

ビスマーク群島	1899年	188.000ト
	1920"	50.000
ニュー・ヘブライズ群島	1890"	120.000
	1920"	60.000
フィジー群島	1884"	128.414
	1889"	110.871
	1894"	103.750
	1898"	98.954
	1901"	94.397
	1911"	87.096

ホリネシア地方

タヒチ島	1774年	150.000
	1880"	17.000
	1899"	10.300
	1917"	10.000
トンガ群島	1880"	30.000
	1893"	17.500
	1900"	19.968
	1911"	23.011
	1920"	22.689
クック群島	1880"	11.500

1900年	8.400
1921"	7.956
1909"	300.000
3"	142.500
2"	130.813
6"	108.579
3"	71.019
0"	67.084
6"	58.765
6"	31.019
0"	29.884
0"	21.907
0"	8.400
0"	3.600
0"	2.800
0"	1.600
0"	1.000
0"	1.400
0"	1.000

西部サモア群島	1899年	37.000
	1921"	32.953

ミクロネシア地方

ギルバート群島	1900年	35.200
---------	-------	--------

■ 永久掃除料に就いて御知らせ

■ 多磨墓地御使用場所の掃除料は、従来一年分宛毎年お納め願ひましたが、今回五年分、十年分、二十年分を一時にお納め出来るやうになりました。

■ 二十年分お納めになれば、將來永久に市に於いて墓域を清掃管理いたします。

■ 数年分掃除料お納めの方は中途で二十年分(掃除料)になほすことも出来ます。

■ 掃除料は一年一平方メートルにつき二十銭の割合です。面積によつて異なりますが次の通りになります。

掃除料計算表

種別	面積	年分
一	二	一年分
		五年分
三	四	十年分
		二十年分

挿入文書

経済資料 第九卷 第六号 (大正十二年六月一日発行)
 南洋洲諸島土着民族の衰滅的傾向に就て (註)

ミラネシア地方

ビスマーク群島	1899年	188,000 ^ト
	1920"	50,000
ニュー・ヘブライズ群島	1890"	120,000
	1920"	60,000
フィジー群島	1884"	128,414
	1889"	110,871
	1894"	103,750
	1898"	98,954
	1901"	94,397
	1911"	87,096

ポリネシア地方

タヒチ島	1774年	150,000
	1880"	17,000
	1899"	10,300
	1917"	10,000
トンガ群島	1880"	30,000
	1893"	17,500
	1900"	19,968
	1911"	23,011
	1920"	22,689
クック群島	1880"	11,500

	1900年	8,400
	1921"	7,956
ハワイ群島	1779"	300,000
	1823"	142,500
	1832"	130,813
	1836"	108,579
	1853"	71,019
	1860"	67,084
	1866"	58,765
	1896"	31,019
	1900"	29,834
	1920"	21,907
ワリス群島	1880"	8,400
	1900"	3,600
	1920"	2,800
マニヒキ群島	1880"	1,600
	1900"	1,000
ツバイ群島	1880"	1,400
	1900"	1,000
西部サモア群島	1899"	37,000
	1921"	32,953

ミクロネシア地方

ギルガート群島	1900年	35,200
---------	-------	--------

地墓磨多市京東



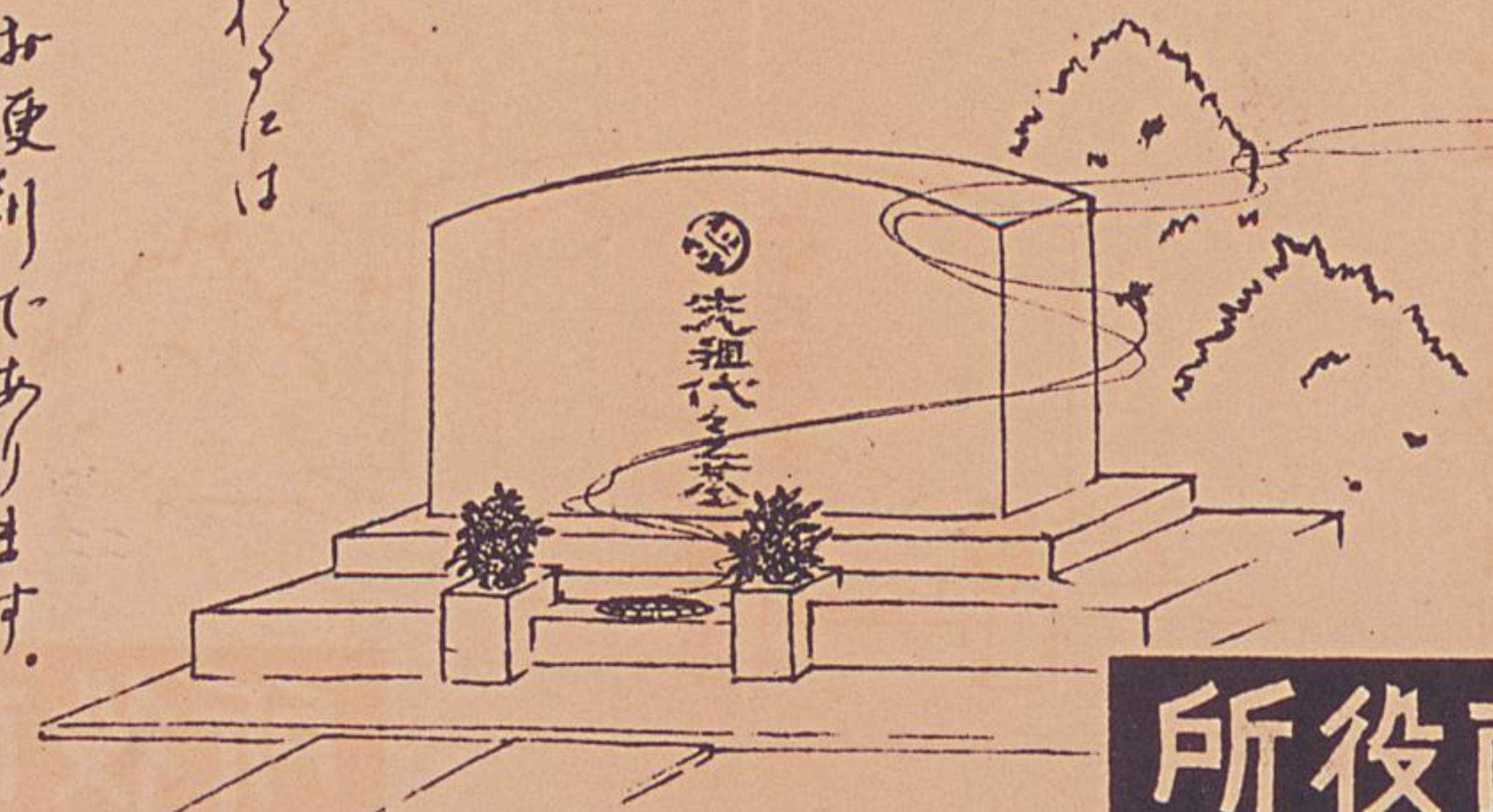
墓地を

永遠に清く

神聖に保存されたいは

永久掃除料を

お納めに下さるのをお便利であります。



所役市京東

永久掃除料の規定

挿入文書

■ 永久掃除料に就いて御知らせ

■ 多磨墓地御使用場所の掃除料は、従来一年分宛毎年お納め願ひましたが、今回五年分、十年分、二十年分を一時にお納め出来るやうになりました。

■ 二十年分お納めになれば、将来永久に市に於いて墓域を清掃管理いたします。

■ 数年分掃除料お納めの方は中途で二十年分（掃除料）になほすことも出来ます。

■ 掃除料は一年一平方メートルにつき二十銭の割合ですから面積によつて異なりますが次の通りになります。

掃除料計算表

種別	面積	年分			
		一年分	五年分	十年分	二十年分
乙種	二平方米	四〇	二〇〇	四〇〇	八〇〇
乙種	四平方米	八〇	四〇〇	八〇〇	一六〇〇
乙種	八平方米	一六〇	八〇〇	一六〇〇	三二〇〇
乙種	一六平方米	三二〇	一六〇〇	三二〇〇	六四〇〇
甲種	六平方米	一二〇	六〇〇	一二〇〇	二四〇〇
甲種	一二平方米	二四〇	一二〇〇	二四〇〇	四八〇〇
甲種	二四平方米	四八〇	二四〇〇	四八〇〇	九六〇〇
甲種	四八平方米	九六〇	四八〇〇	九六〇〇	一九二〇〇

詳細は左記で御説明申上ります。

東京市保健局公園課

電話九ノ内四(百〇五)一内線四二七番

東京市多磨墓地管理事務所

電話府中七七九番

挿入文書

	1911年	26,417
エリス群島	1900"	3,400
	1911"	3,084
マーシャル群島	1899"	13,000
	1921"	8,901
マリアナ群島	1899"	2,000
	1921"	3,638
カロリン群島	1899"	40,000
	1921"	34,936

I. Bevölkerung.
(nach Kalenderjahren; Stand 1. Januar)

I. Gesamtbevölkerung der Schutzgebiete 1910.

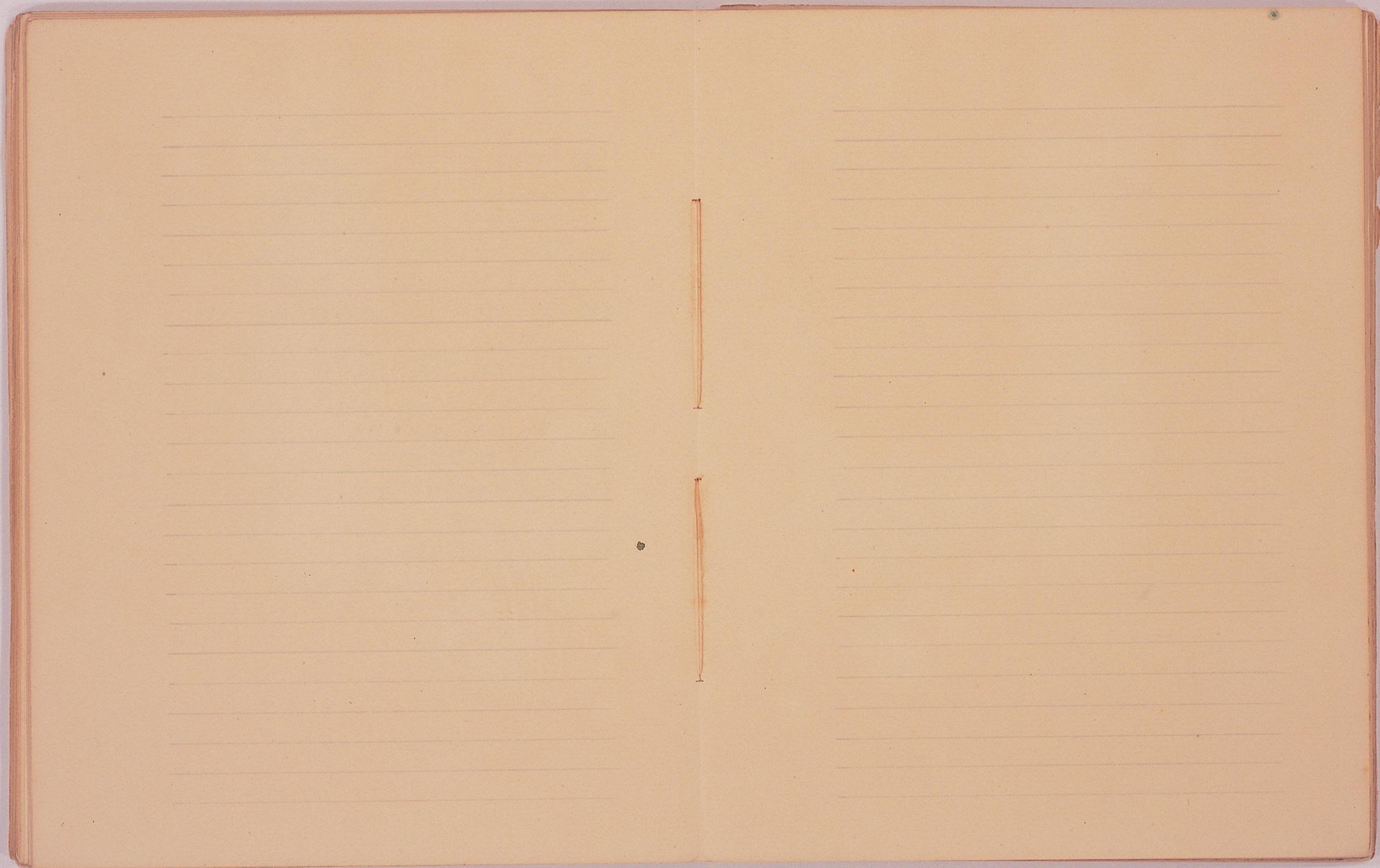
	白人						計	有色人 (土着)	有色人 (非土着)
	大人		小児		合計				
	男	女	男	女	男	女			
Ost-Karolinen	29	21	4	6	53	27	80	—*	—*
West-Karolinen, Palau und Marianen	278	15	6	8	284	23	307	16746	2060
Marshall-Inseln	124	32	14	4	138	41	179	—*	944

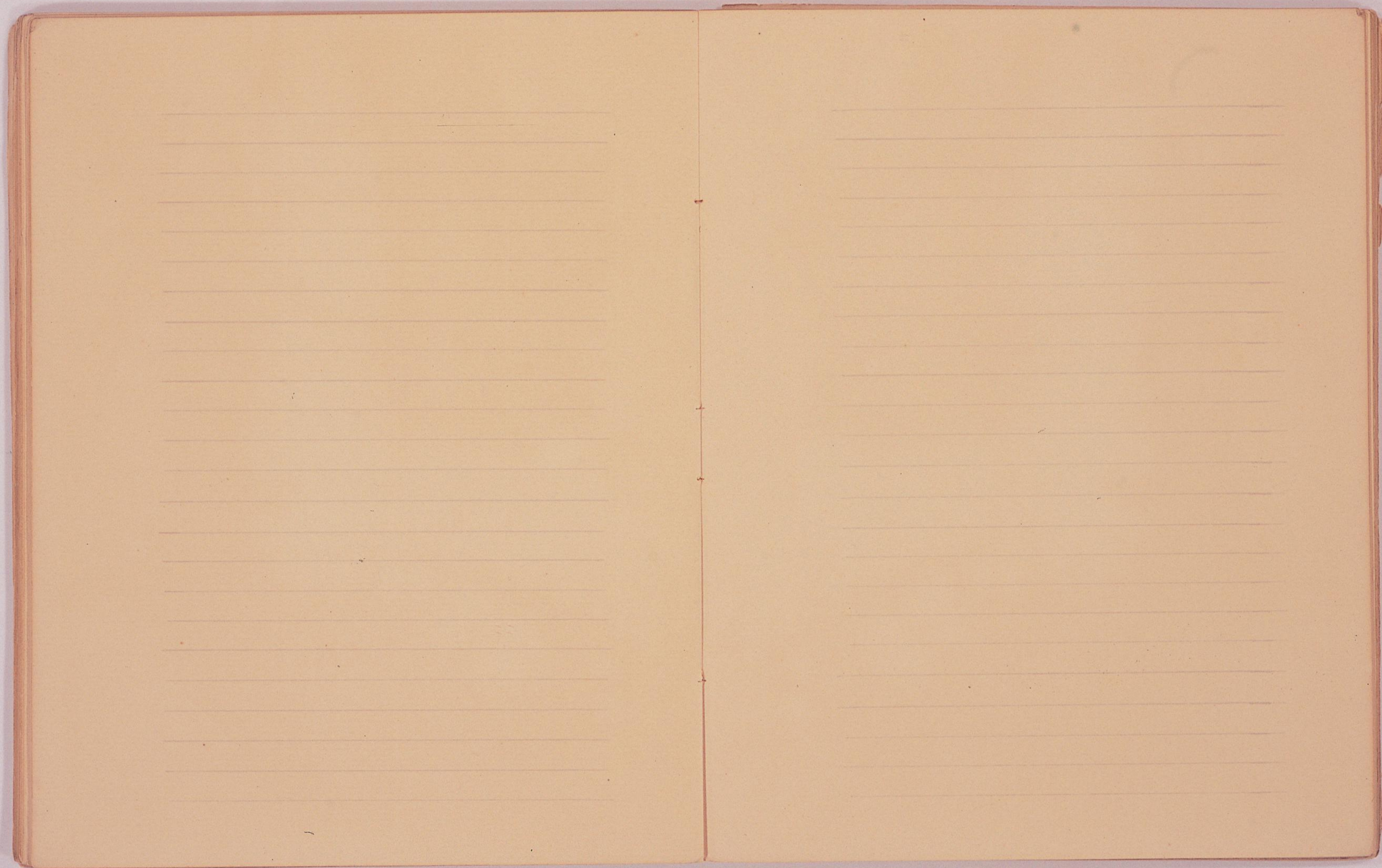
I. Gesamtbevölkerung der Schutzgebiete 1911.

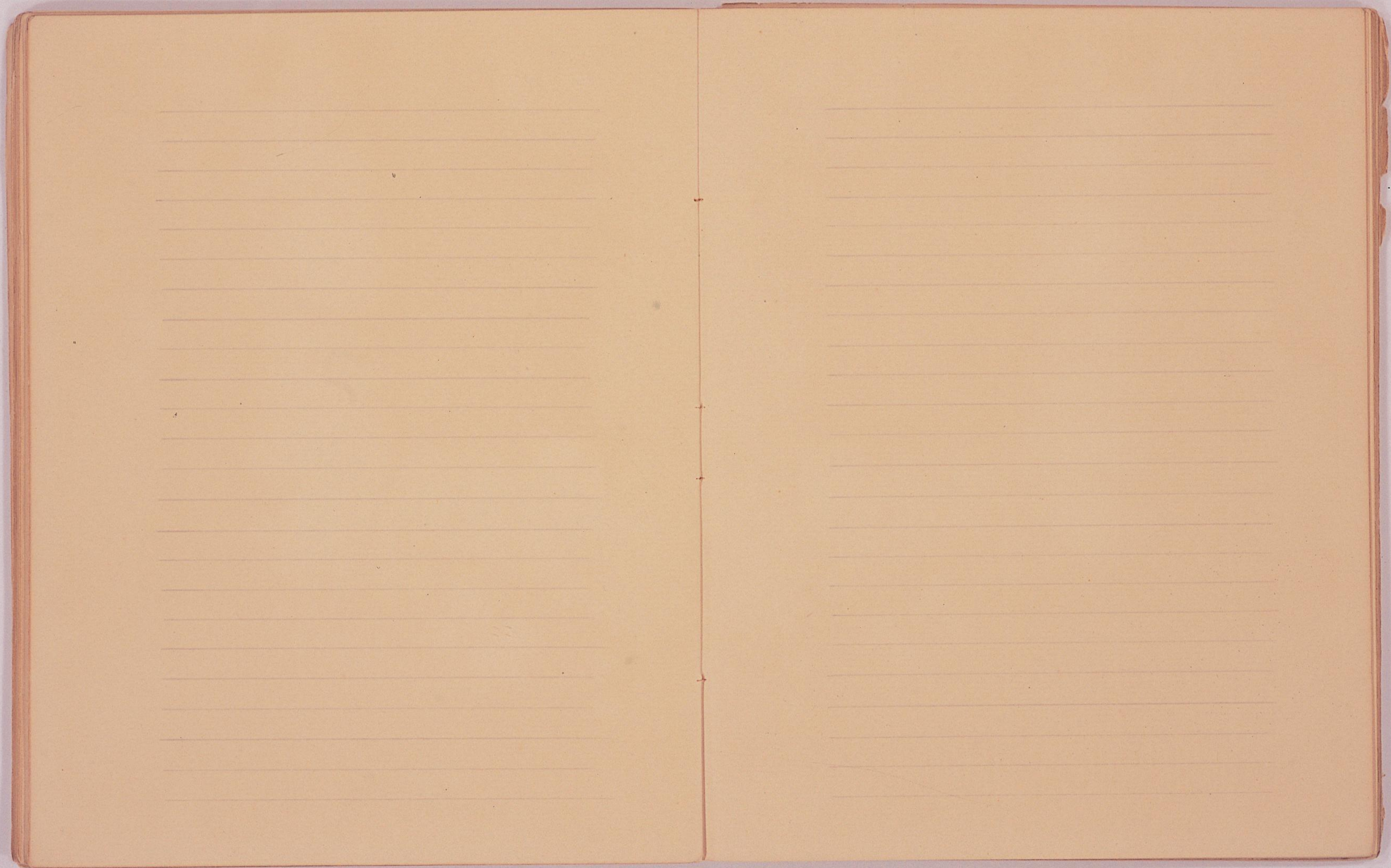
Ost-Karolinen	54	18	—	1	54	19	73	25000	—8)
West-Karolinen, Palau und Marianen	151	16	5	4	156	20	176	16506	2127
Marshall-Inseln	116	29	18	9	134	38	172	10550	681

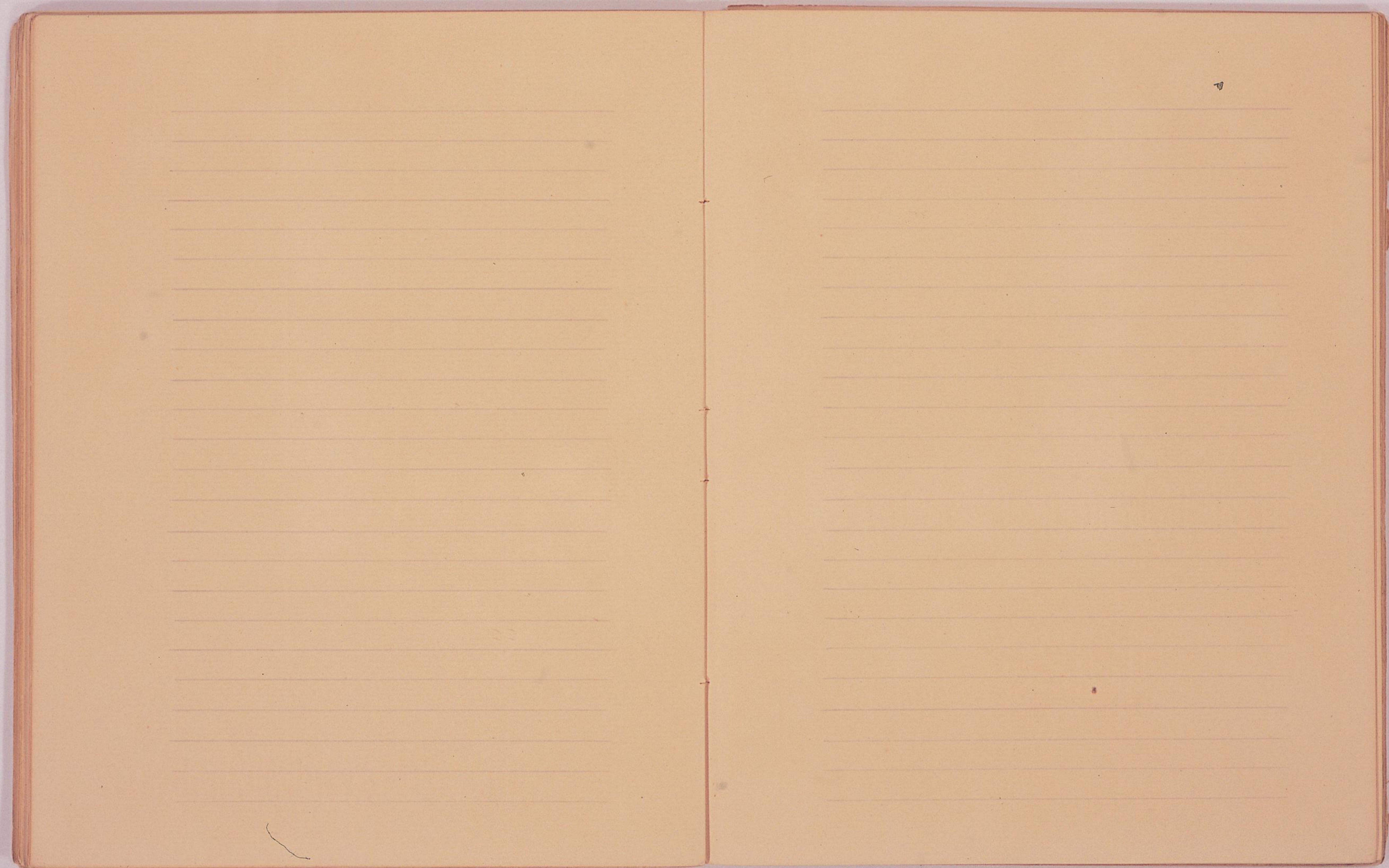
2. 白人人口

	1900				1901			
	男	女	小兒	計	男	女	小兒	計
New-Guinea insell. Inselgebiet	355	73	55	483	376	72	48	496
"	1902				1903			
"	396	71	47	515	513	87	50	650
"	1904				1905			
"	547	102	68	717	555	132	77	764
"	1906				1907			
"	600	152	91	843	588 + 103 316	144 3 87	81 1 52	920
"	1908				1909			
"	677	179	112	968	770	180	122	1072
"	1910				1911			
"	915	214	125	1254	830	224	115	1169



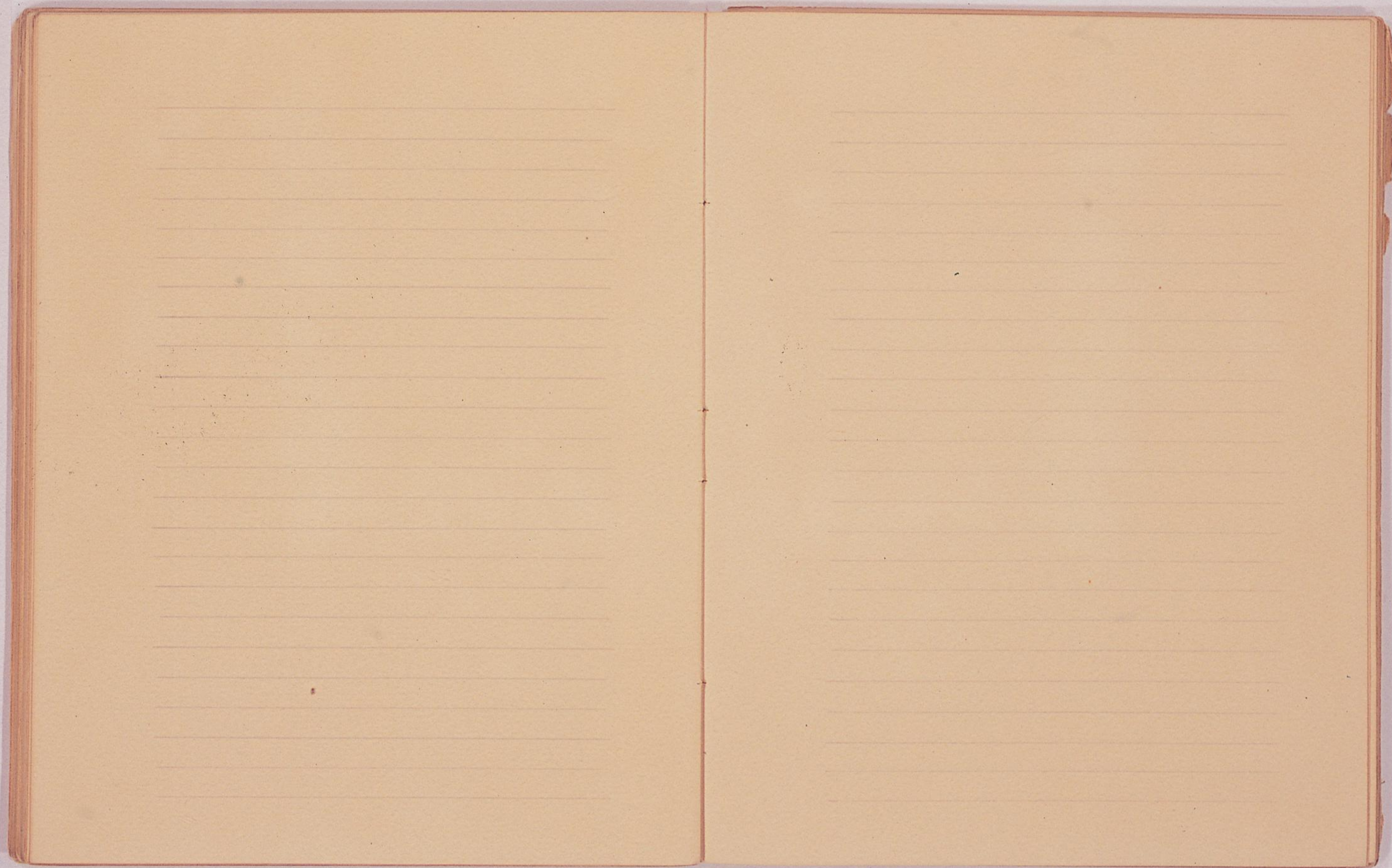


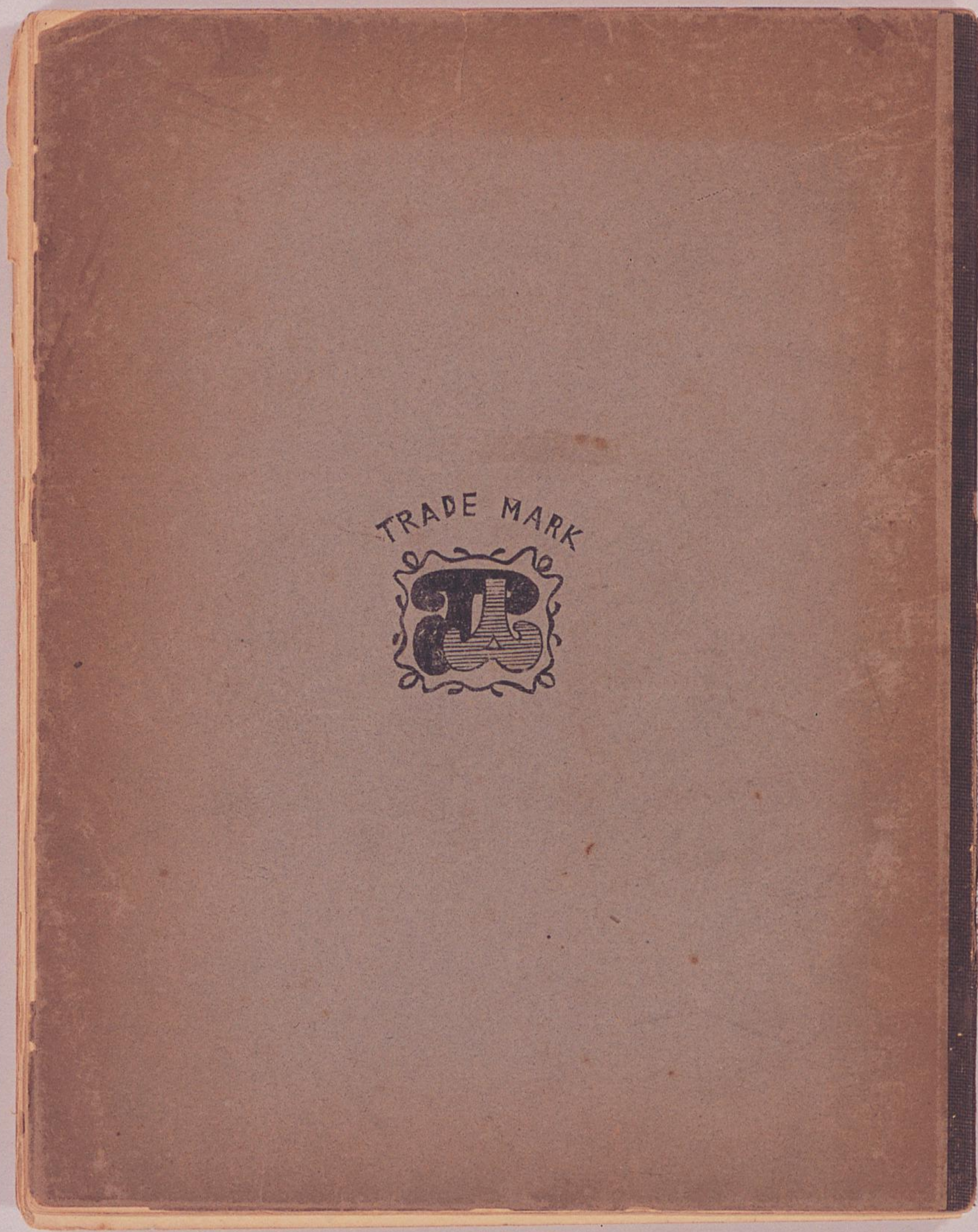




説明 ターゲット

これ以降
白紙の為
撮影を省略する。





TRADE MARK
T P



Kodak
LICENSED PRODUCT

KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000

3/Color
Black

White

Magenta

Red

Yellow

Green

Cyan

Blue

E N D

REEL No. A-003

琉球大学